



伊勢湾台風



の
みこ
まれ

平
和
な
暮
ら
し



伊勢湾台風
超大型台風で昭和の3大台風の一つといわれます。1959年9月26日の夜、木曾岬村(当時)南半分の堤防が壊れて大きな被害を受けました。小中学生は12月まで鈴鹿市の施設で親と離れた生活をしたり、塩害で何年もの間田畑が不作となったりするなど多くの苦勞がありました。【教材「三重の文化」P7】